

## 第 12 回 JAMS 研究大会のご案内

前号でもお伝えしましたように、第 12 回 JAMS 研究大会が 12 月 13 日(土)、14 日(日)の 2 日間に渡り、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(AA 研)で開催されます。なお、今回の JAMS 研究大会は、宮崎恒二 AA 研所長のご協力をいただき、『ボルネオ及びその周辺部における移民・出稼ぎに関する文化人類学的研究』(科学研究費補助金 基盤研究(A)(1) 代表者 宮崎恒二)との共催というかたちで開催いたします。

初日の第 1 セッションでは「多元社会における共生」を共通論題とするパネルを企画いたしました。昨年の大会では「Bangsa Melayu」や「華人研究」というエスニック・アイデンティティに関わるセッションが企画され、たいへん充実した議論が展開されました。前回の大会での議論を踏まえつつ、今回の大会では「帰属意識を異にする人びとがいかにして共存しうるのか」という問題を多元社会の実態に即しつつ議論したいと考えております。『共生のシステムを求めて——ヌサンタラ世界からの提言』(弘文堂、2001 年)の著者である立本成文会長に基調講演をしていただくほか、フィールド経験豊富な 3 名の方々に臨地調査に基づいた報告をしていただきます。また、2 日目の第 2 セッションでは、気鋭の 3 名の方々にそれぞれたいへん興味深いテーマについて個別の研究報告をしていただきます。

また、初日の夜には大学会館で懇親会を催しますので、こちらにもぜひご参加くださいますようお願いいたします。参加費は一般 5,000 円、学生 3,000 円です。

研究大会への参加お申し込みは、同封の申し込み用紙を参考に必要事項を記載のうえ大会事務担当の左右田まで E メールでご連絡していただくか、申し込み用紙に必要事項を記入してそのままファックスにてお知らせいただければ幸いです。11 月 30 日(日)までにお申し込みください。

師走のご多忙な折とは存じますが、ぜひ 2 日間ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

大会事務担当 左右田直規

## 第 12 回 JAMS 研究大会プログラム

開催日:2003 年 12 月 13 日(土)・14 日(日)

会 場:東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(東京都府中市)3 階大会議室

会場へのアクセスは以下の URL をご覧ください。

[http://www.tufs.ac.jp/common/is/university/access\\_map.html](http://www.tufs.ac.jp/common/is/university/access_map.html)

大学構内の地図は以下の URL をご覧ください。

[http://www.tufs.ac.jp/common/is/university/campas\\_map.html](http://www.tufs.ac.jp/common/is/university/campas_map.html)

共催:『ボルネオ及びその周辺部における移民・出稼ぎに関する文化人類学的研究』  
(科学研究費補助金 基盤研究(A)(1) 代表者 宮崎恒二)

\*各報告のタイトルは仮題です。変更の可能性がありますので、予めご了承ください。

12月13日(土)

13:00～ 受付開始

13:30～13:40 開会の辞 宮崎恒二(東京外国語大学)

13:40～17:30 第1セッション 共通論題報告「多元社会における共生」

13:40～14:10 基調講演:「公共圏と共同体——宗教的多元社会における共生の可能性」  
立本成文(中部大学)

14:10～14:40 報告1:「世界遺産登録をめざすマレーシア——遺産はなにを『語る』のか」  
宇高雄志(広島大学)

14:40～14:50 休憩

14:50～15:20 報告2:「華人のいる風景——オラン・アスリと華人の関係について」  
信田敏宏(国立民族学博物館)

15:20～15:50 報告3:「資源フロンティア・リアウ——近年の農園開発とその含意」  
永田淳嗣(東京大学)

15:50～16:10 コメント 宮崎恒二(東京外国語大学)

16:10～16:20 休憩

16:20～17:30 総合討論

17:30～18:30 会員総会

18:30～20:00 懇親会(大学会館1階生協食堂ミール)

12月14日(日)

9:30～ 受付開始

10:00～12:40 第2セッション 個別研究報告

10:00～10:50 報告1:「『タイ・マレーシア国境』という空間性の再構築——中国系住民の視点を中心に」  
高村加珠恵(東京外国語大学大学院)

10:50～11:40 報告2:「植民政策学から地域研究へ」  
井口由布(東京外国語大学大学院)

11:40～ 休憩

11:50～12:40 報告3:「イバン語訳聖書の発禁・解除事件の意味するもの——1980年代のマレー(シア)語問題と比較して」  
綱島(三宅)郁子

12:40～ 閉会の辞 立本成文会長